

慶應義塾医学部新聞 発行所 三四会医学部新聞編集室 160-8582 東京都新宿区信濃町35 電話(3533)1211 内線64996 会費 1000円(税別) 購読料が含む 発行人 武田純三 毎月1回20日発行

信濃町駅前・各種診療 慶應義塾大学病院 外来診療時間 午前8時30分～午後12時 午後1時～午後6時(土曜・日・祭日) 電話 03-3533-1211(内線64996)

第23期 日本学術会議始動



第2部基礎医学分野 須田 年生君 (53相当) 継続

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという考えの下、行政や産業及び国民生活に科学的な視点、浸透させることを目的、昭和24年(1949年)1月、政府から独立して職務を行なう「特別閣僚」の特別顧問として設立された。その後、学術会議は1997年12月に行政改革会議で総務府から総務省への移管が決まり、同時に総合科学技術会議でのあり方が審議された。2003年2月に黒川清氏が中心となって進められ、2005年10月1日に新たな学術会議として生まれ変わり、現在に至っている。

第2部臨床医学分野 向井 千秋君 (56回) 新規

第2部臨床医学分野は、我が国の各分野で活躍している約84万人の科学者代表を組織した。本組織は正会員210名、平均年齢60.9歳と約2000名の連携により構成され、その任期は原則6年、3年毎にほぼ半数が改選される。その役割として、①政府に対する政策提言、②国際的な活動、③科学者間のネットワーク構築、④科学の役割についての啓発活動、の4つが挙げられる。

第2部(生命科学系)会員に 三四会員3名就任

第2部(生命科学系)は、この第23期では大幅に女性会員が増加している(新規105名、女性会員34名)。このうち、三四会員の就任者は、須田年生君(53相当)の継続、向井千秋君(56回)の新規、戸山芳昭君(54回)の継続の3名である。

向井千秋君が副会長就任

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという考えの下、行政や産業及び国民生活に科学的な視点、浸透させることを目的、昭和24年(1949年)1月、政府から独立して職務を行なう「特別閣僚」の特別顧問として設立された。その後、学術会議は1997年12月に行政改革会議で総務府から総務省への移管が決まり、同時に総合科学技術会議でのあり方が審議された。2003年2月に黒川清氏が中心となって進められ、2005年10月1日に新たな学術会議として生まれ変わり、現在に至っている。

新病院棟 1期棟建設 = 11月の進捗状況 =

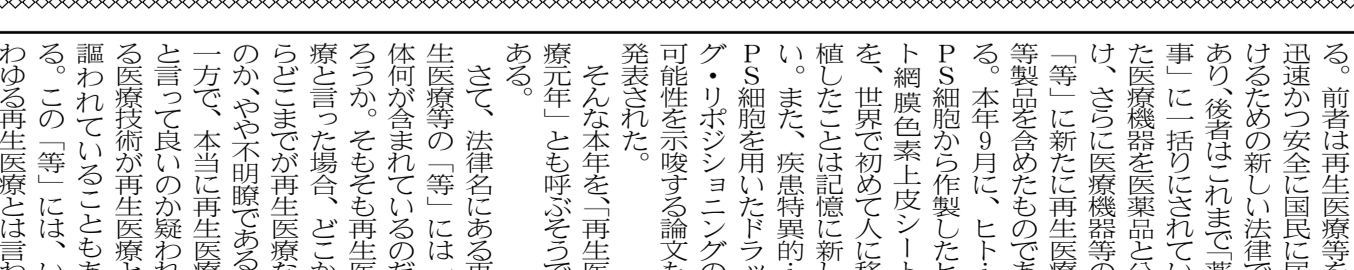
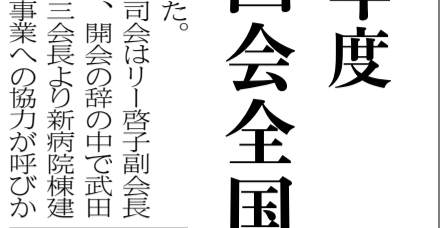


図1 新病院棟1期棟建設の進捗状況

平成26年度 三四会全国支部長会開催



平成26年度三四会全国支部長会開催の様子。武田純三氏が司会を務める。

平成26年度三四会全国支部長会が、10月18日(土)18時から帝国ホテルにて、開会式の中で武田純三会長より新病院棟建設事業への協力が呼びかけられ、代表者が参加し、設置事業への協力が呼びかけられた。次に戸山芳昭常務理事から、世界に冠する慶應義塾大学の構築に向け、信濃町キャンパス全体で450億円規模の大プロジェクトが進められていることが説明された。

三四会より新病院棟建設事業に 6000万円の募金を実施

本年6月24日の三四会定例評議員会において、総合将来計画資金として準備されていた三四会館建設特別会計より、新病院棟建設事業に対して6000万円の募金を行う事が慎重審議の上承認されました。これを受けて理事会では2014年度に同額を支出する事を決定し、10月1日付で慶應義塾に対する寄付を行われました。



図2 新病院棟2期棟建設の進捗状況

新病院棟建設実現に向けて 内科同窓会へのお願

医学部新聞10月号より、私共理事を応援して医学部100周年の記念事業として、清家篤彦、戸山芳昭常務理事、末松誠医学部長のなすべきことを考え、医学部新聞、竹内勤助院長の協力を得て、内科同窓会へのお願が掲載されました。内科同窓会が何かに協力していただくことが、新病院棟建設に大きく貢献するものと期待しています。

目標を達成し 慶應医学からノーベル賞を

日医医療センター 森久保裕(31回)

新病院棟建設実現に向けて 内科同窓会へのお願

医学部新聞10月号より、私共理事を応援して医学部100周年の記念事業として、清家篤彦、戸山芳昭常務理事、末松誠医学部長のなすべきことを考え、医学部新聞、竹内勤助院長の協力を得て、内科同窓会へのお願が掲載されました。内科同窓会が何かに協力していただくことが、新病院棟建設に大きく貢献するものと期待しています。



図3 新病院棟3期棟建設の進捗状況

新病院棟建設事業に 6000万円の募金を実施

本年6月24日の三四会定例評議員会において、総合将来計画資金として準備されていた三四会館建設特別会計より、新病院棟建設事業に対して6000万円の募金を行う事が慎重審議の上承認されました。これを受けて理事会では2014年度に同額を支出する事を決定し、10月1日付で慶應義塾に対する寄付を行われました。

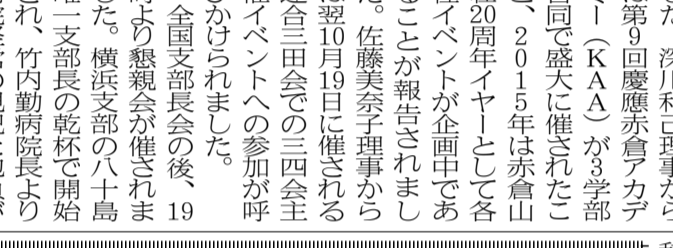


図4 新病院棟4期棟建設の進捗状況

新病院棟建設実現に向けて 内科同窓会へのお願

医学部新聞10月号より、私共理事を応援して医学部100周年の記念事業として、清家篤彦、戸山芳昭常務理事、末松誠医学部長のなすべきことを考え、医学部新聞、竹内勤助院長の協力を得て、内科同窓会へのお願が掲載されました。内科同窓会が何かに協力していただくことが、新病院棟建設に大きく貢献するものと期待しています。

目標を達成し 慶應医学からノーベル賞を

日医医療センター 森久保裕(31回)

新病院棟建設実現に向けて 内科同窓会へのお願

医学部新聞10月号より、私共理事を応援して医学部100周年の記念事業として、清家篤彦、戸山芳昭常務理事、末松誠医学部長のなすべきことを考え、医学部新聞、竹内勤助院長の協力を得て、内科同窓会へのお願が掲載されました。内科同窓会が何かに協力していただくことが、新病院棟建設に大きく貢献するものと期待しています。

目標を達成し 慶應医学からノーベル賞を

日医医療センター 森久保裕(31回)